

矛

盾

事務局 埼玉大学理学部数学科 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

会誌編集委員会

第2回同窓会総会 開かれる

去る7月5日(土)に埼玉大学学生会館3階ホールにおいて、「埼玉大学数学科同窓会総会」が開かれた。数学科同窓会会長光 道隆と数学科学科長阪本邦夫氏より挨拶があった。ひきつづき議事に入った。まず会長より活動報告がなされた。次に会計報告と監査報告があった。収入は寄付金・会費の納入がなく、先回の繰越金のみであった。支出は通信費(総会の案内と会報の発送)がほとんど占める状況が説明された。監査から会計簿と伝票の保存をするようにとの提案がされた。

2007年から理学部同窓会が新生生に対して会費を徴収することになり同窓会費の2重取りの懸念から数学科同窓会規約の変更が提案された。役員選出、最後に今後の活動方針が披露された。全ての案件が承認され総会を無事終える事ができた。

その後、数学科の好意により数学科の施設の見学が行われた。

久しぶりの校舎見学で、学生当時の思い出に花を咲かせていた。



今後の活動方針

これから4年間2つのことを中心に活動したいと考えております。

1つは名簿の修正をしっかりとしたい、ということです。今回、総会のお知らせをお送りして、宛先不明で返ってきた葉書が多く愕然としました。私たちだけでは名簿の修正は不可能ですが、皆様に助けて

いただき、しっかりとした名簿にしたいと思いますので、ご協力よろしくお願いたします。

もう1つは、メーリングリストの活用です。数学教室のご協力で同窓会のメーリングリストを持つことができることになりました。幸い総会の案内の返事で多くの方からメールアドレスを教えてくださいました。これを活用して、数学科同窓会独自の情報を皆様にお届けしたりできたら、と考えております。他のメーリングリストで最近このようなことがありました。海外に住んでいる大学生から、海外の大学を卒業予定でこのような仕事をしたいのだが、日本の様子を教えてもらえないか、というメールがメーリングリストにのり、それに対してさまざまの人から助言がその学生にあり、学生は感謝しておりました。数学科の学生、卒業生がお互いに困ったこと、教えてほしいことがあったときなど、メーリングリストにそのことを流すことにより、的確な助言が得られるのではないかと考えております。メーリングリストが同窓会の親睦の場になるのではないかと期待しております。

懇親会開かれる

第2回総会に引き続き、午後5時より、同学生会館2階「きやら亭」にて懇親会が開催された。

大学院理工学研究科長の水谷忠良先生・櫻井 力先生、埼玉大学名誉教授の奥村正文先生・竹内喜佐雄先生にも参加いただき、楽しいひと時を過ごすことができた。次回は4年後の2012年に再会を

約束し、懇親会を終了した。その後、同期会を北浦和駅前で行った期もありました。2012年には各期で同期会をぜひ開きたいものです。



埼玉大学理学部数学科同窓会規約

第1章 総則

第1条（名称） 本会は「埼玉大学理学部数学科同窓会」と称する。

第2条（目的） 本会は会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条（事業） 本会は前条の目的を達成するため名簿の作成、その他必要な事業を行う。

第2章 会員

第4条（会員） 本会は正会員、特別会員、賛助会員をもって構成する。

1.正会員は埼玉大学文理学部理学科数学専攻、理工、理の各学部数学科および同大学院理学、理工学研究科の数学専攻に在籍した者。

2.特別会員は、同数学科、数学専攻の専任の現教員、および専任の教員であった者。ただし正会員である者は除く。

3.賛助会員は、第2条の目的に賛同し入会を希望し、理事会の承認を得た者。

第3章 役員

第5条（役員） 本会に下記の役員を置く。

- 1.会長 1名 2.副会長 2名
3.理事 各学次若干名 4.監事 2名

第6条（選出） 役員を選出は、次のとおりとする。

- 1.会長および副会長は、総会において会員の互選により正会員の中から選出する。
2.理事は、総会において会員の互選により正会員の中から選出する。理事は、原則として各卒業年次ごとに少なくとも1名選出する。
3.監事は、総会において会員の互選により正会員の中から選出する。

第7条（任期） 役員任期は4年とし、再任を妨げない。

第8条（任務） 役員任務は、次のとおりとする。

- 1.会長は、本会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長に支障があるとき、これを代行する。
2.理事は、理事会を構成し、会務の重要事項を審議する。
3.監事は、本会資産の状況と会計を監査し、総会で承認を受けるものとする。

第4章 会議

第9条（会議） 本会に次の会議を置く。

- 1.総会 2.理事会

第10条（総会） 1.総会は、全会員で構成され、定時総会および臨時総会を置く。

2.定時総会は4年に1回、会長が招集する。臨時総会は会長が認めたとき招集する。

3.総会は本会の総意を決定する。

4.総会は、理事会から前回以後の活動の報告を受けなければならない。

5.総会は、監事から前回以後の監査の報告を受けなければならない。

第11条（理事会） 1.理事会は、会長、副会長、理事で構成される。

2.理事会の招集は会長が行う。

3.理事会は会員名簿の作成、管理、事業計画、執行等の業務を行う。

4.理事会は特別な事業を行うために委員会を設けることができる。

第12条（議決） 各会議において議決は出席者の過半数の同意による。

第5章 会計

第13条（経費） 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入による。

第14条（会費） 正会員および賛助会員は会費を納入する。会費の額、納入時期は総会で決定する。

第15条（報告） 会計は監事の監査を経て、総会において報告されなければならない。

第6章 事務局

第16条（事務局） 本会は事務局を埼玉大学理学部数学科に置く。

第17条（会員の消息） 会員は、その氏名、住所、職業、勤務先を変更したときは、事務局に連絡するものとする。

第7章 付則

第18条（規約成立） 本規約の成立は平成16年7月5日とする。

第19条（規約改正） 本規約の改正は、総会で行う。

規約に伴う付帯決議

1) 総会は4年ごとに開催する。

2) 同窓会の維持、運営のために会費を集める。

新規卒業生である正会員は卒業時に6千円を納入し、終身会員となる。

既卒業生は今回の寄付金を会費に当て、4年ごとに2千円を納入し、合計6千円に達した時点で終身

会員となる。

2007 年度以降入学したものは入学時の理学部同窓会費を納入し、終身会員となる。ただし、卒業までに理学部同窓会費を納入しなかったものは既卒業生と同様とする。

- 3) 同窓会は会報を発行し、会員に配布する。会報の名称を「矛盾」とする。会報の発行時期は総会后、その他とする。
- 4) 現理事以外に広く理事を募る。新理事の選任は理事会に一任する

以上、下線の追加訂正が提案され承認された

役員

旧理事の再任に加え、新たに数名の理事をお願いして承認を得た。

会長 光 道隆(理工第1期)

副会長

佐藤義隆(理工第2期), 木内博文(理第6期)

理事

新井理生(文理第13期), 佐竹久典(理工第1期)

谷川正樹(理工第4期), 鳥井新人(理第1期),

川浦美佐子(理第6期), 渡辺祐子(理第6期),

後藤 亨(理第7期), 中山 功(理第17期),

山口恵史(理第22期), 丹下大輔(理第22期)

根岸純子(理第29期)

監事

鵜沢正勝(文理第10期), 盛岡光雄(理工第4期)

(会計)

中山 功(理第17期), 丹下 大輔(理第22期)

(事務局) 櫻井 力(埼玉大学理学部数学科准教授)

~~~~~ 題字について ~~~~~

「矛盾」の題字は、旧文理学部白石早出雄教授(故人)の書です。前総会で「矛盾」と名付けられた歴史が明らかになりました。当時のテキストをお持ちの方は事務局にお知らせ願います。

会長挨拶

理工学部第1期生 光 道隆

先日私の勤務先のフランス語の先生が退職されることになり、どういっかけてその話になったのか分からないのですが、卒業大学の話になりました。私が埼玉大学だとお話し



すると、いやわたしもなんですよ、という返事。その方は将棋がお好きだということを知っていたので、私が埼玉大学の学生とき大学の将棋部が強く、特に部長は強くよく新聞に載っていたと話をすると、なんとその方は文理学部の最後の方で、当時将棋部の部長、つまり私の話題の人その人であることが判明し、すっかり意気投合してしまいました。埼玉には文学部がありませんので、まさかフランス語の先生が埼玉大学のご出身とは思っていませんでした。この機会にと思い、いろいろお話をうかがいました。その方は高校は工場に働きながら、夜間で卒業し、お金をためて、ご自身の力で大学、大学院を卒業されたそうで、わたしなどのように親のお金で、ふわふわと過ごしたものと違って、一本筋が通った素晴らしい方でした。お話をする機会はいくらでもあったのに、それを失ったのがいかにも残念でした。埼玉大学はこの方のように、受験勉強のエリートだけではなく、いろいろな人を許容するすばらしい大学なんだとその方のお話を聞きながら実感しました。私自身もこの大学にこれたことで、勉強をしなればと思いきり本を読むことができ、埼玉大学の学生であったことを誇りに思っております。同じ空気を吸い、悩み、喜び、学んだということはそれだけですばらしいことです。その縁を大事にして、同窓会の親睦をはかれたらと思っております。これからもよろしく願います。

特別寄稿

埼玉大学，大きな節目

埼玉大学名誉教授 辻岡 邦夫

私は昭和46年(1971年)にそれまで6年間勤務していた東大教養学部から埼玉大学に赴任しました。このころは大学を取り巻く環境にとっても私に大きな節目でした。大学にとって、日本全国の大学を風靡した学園紛争が終結した直後であり、個人的には、結婚直後でした。私の埼玉大学生生活は以後2003年の定年退官まで33年続きました。

当時教授は山梨，有馬，坪井，西宮先生がおられ助教授には奥村，竹内，宮崎先生がいました。本でしか存じあげていなかった著名な吉田洋一先生が非常勤でおいでになっていました。有馬先生は，私が浪人時代駿台予備校でお世話になって以来の再会でした。駿台では手ぬぐいを腰に下げ旧制高校の雰囲気がありました。赴任してから，そのことについて一度お伺いしたら，手ぬぐいならここにあると行って，カバンから出して見せてくれました。

私の最初のゼミの学生，森君，吉田君は私の授業を聞いたことのない学生でした。彼らの学年は東大が学園紛争のため学生募集を取り止めた年の入学生です。埼玉大学でも，紛争の嵐は激しかったようですが，其のとき活躍した学生は，私には伝説上のひとたちでしかありません。

学生時代私は解析学における半群理論が専門でしたが，関数解析をつかった最適制御理論を手がけるようになり，埼玉に来てから，学位論文をまとめたり，時間をかけて勉強をさせてもらいました。何人かの中国人留学生が私のところで勉強しました。中国語，韓国語を勉強し在職中に中国，韓国に何度も行かせて貰いこの2ヶ国の数学者との交流を深めました。2003年定年退官後これまでの数学上の業績を中国人学生に伝えようと中国にわかりました。以来5年間ずっと中国で教えています。最初は数学を日本語，中国語で教えていましたが，次第に日本語も教えるようになりました。いまは，日本語教師です。埼玉大学33年いい先輩，仲間，学生に恵まれ，その結果の私があります。これからの私の楽しみは日本に来ている中国人学生と私の埼玉大学でのゼミ学生の交流です。

2008年8月

「脈絡のない人生」と

「デデキンド」

理工学部第4期生 谷川 正樹

私は現在，数学と全く縁のない小さな繊維(レース)会社を経営しております。去年とうとう還暦(まだ若いつもりですが)を迎えてしまいました。まだこの先，公私とも多くの課題を抱えておりますが，チョッと立ち止まって過去を振り返って見ますと「脈絡のない人生」を送ってきたように思います。

どうもそれは今から約40年前の数学科入学から始まっているように思えます。当時，受験失敗を繰り返し，やっと埼玉大学数学科にたどり着きましたが，数学に対する確固とした信念もなく，まあ理科系に向いていそうだし，とりあえず数学を勉強しておけば間違いなだろうという安易な

気持ちでございました。しかし，大きな転機は入学早々きました。何気なく参加した自主ゼミで出会った「デデキンドの切断」です。実数の連続性，数直線に穴が空いていないか，重なっていないかの証明です。この出会いが初めて数学というものの本質と感動を私に与えてくれました。自主ゼミを勧めてくれたM君に本当に感謝しております。先日，当時借りたノートを40年ぶりにM君に返却しました。

しかし，4年時のゼミで宮崎先生の数学に対する真摯で厳しい姿勢に接し，とても自分のような意志薄弱な者には無理と，あっさり進学を諦めてしまい，まとも定見もなくコンピュータが面白そうだと変心し外資系コンピュータ会社に就職してしまいました。そしてその1年後公務員に転向し，

そのまた11年後父が経営していた現在の会社に入社し現在に至っております。

数学を一生の仕事とし、研究者、教育者として活躍している多くの方々から見るとなんと「脈絡のない人生」と思えるかもしれません。ただ、いろいろな世界を経験させてもらい、また多様な価値観の人々と知己になれたことは自分自身の財産であり、現在の仕事に役立っている事も事実です。

数学科同窓会に出席しますと故郷に帰ったような気がします。これからも「デデキンド」の感動を忘れないようにしたいと思います。

学生時代

理学部第22期生 丹下 大輔

入試の2次試験に全くと言っていいほど手ごたえが無く、半ば諦め気分で見に行った合格発表で目にした受験番号。見間違えか？とも思ったが、自分の受験番号は間違えようも無いような、全桁同じ番号の5桁。かくして僕は埼玉大学理学部数学科の中の1人になれることが決まった。1997(平成9)年3月22日のことでした。

自分で言うのもなんですが、高校までの数学の成績は5段階で「5」ではないときのほうが稀であり、数学は得意かつ好きな科目。それが、大学においては卒業に必要な単位を積み上げていくのに相当な苦戦をしていました。並行して取っていた教職課程の科目も多数あった2年次の時は1週間の授業数もかなり多く、いちばん大変だった頃でした。3年次までに取得しなければ4年で卒業できなくなる必修科目が1回で取れず冷や汗をかいたことも幾度かあり、どうにかこうにか4年で卒業させていただけることが決まったのは3年次の本当に最後の最後のほうだった気がします。それでも、数学に対する興味が失われることはありませんでした。好きな分野であることは今も変わりません。結局、1単位の過不足も無く2001(平成13)年3月26日、無事に卒業式を迎えることができました。

社会人となった今、直接的に数学にかかわるような仕事をしているわけではありませんが、大学時代に学んで考え方が役に立つときが時折あります。教育実習まで行って手に入れた教員免許も制度改正により無かったことになってしまいそうですが、それらを含

め4年間で習得したものは自分にとっては大きな意味のあるものだと思っています。

それにしても、理学部棟と共通教育棟の間に立ち、図書館や第2食堂のある西方向を向いた時の景色というのは入学以来12年目となった今もまったく変わっていません。唯一変わったのは、18歳だった僕自身が30歳目前であることぐらい...

近況報告

総会の出欠票に書かれた通信欄の内容を順不動で列挙いたしました。ご協力ありがとうございました。紙面の関係で一部割愛させていただきました。

- **高岡 正彦** 今年、高校総体(登山大会)の事務局をやっています。これから夏にかけて自由になる時間がありません。みなさんによるしくとお伝えください。
- **柴崎 敦** 平成20年4月1日より川口市教育局教育部指導課で指導主事をしております。
- **押井 信** 山形県余目中学校というところに勤務しています。辻岡ゼミ出身です。陸上部の顧問をしており、陸上王国埼玉を目標にしています。なかなか参加できませんが辻岡先生によるしくお伝えください。
- **奥山 幸治** 大学もこういうことをするのだと驚いています。時代の流れ(?)なのでしょう。大学も高校のように雑務に追われて学生が見えなくなないように願っています。
- **金子 功** 埼玉県で、特別支援学校の教員をしています。21年4月に開校する学校の準備にあたっています。
- **石塚 学** 栃木県立佐野高等学校に勤務しています。4月から中高一貫校になりました。皆さまによるしく
- **栗原 清和** 現在は埼玉県立狭山経済高校に勤務しております。42歳独身！良縁がございましたら宜しく願い致します(笑)。
- **竹馬 和彦** 民間の調査会社に勤めています。今、社会保険労務士試験合格するべく、勉強中です。又、機会があれば数学を教えることもしたいと考えています(日本数学教育学会の会員です)。

- **芹沢 利弘** 現在静岡県で高校の教員をしています。
- **松本 政美** 大学を卒業して10数年経ち、会社、家族の事に没頭しています。特に、双子の息子が今年小学校6年生になり、地域のサッカー少年団で、最上級生として頑張っているの、親バカの私は、少年団の手伝いに大忙しです。先生方、同級生の皆様にぜひ会いたいのですが、今回は行事が入っているので、次の機会に、皆様に会えることを楽しみにしております。
- **高 始徳** 東京都北区にあります、東京朝鮮中高級学校にて、数学を教えております。
- **後藤 良子(旧姓 木間)** 結婚して2児の母になり、子育てに奮闘中です。
- **大口 香織** 今年5歳と2歳になる二人の息子がいます。毎日子育てに追われています。
- **市川 大輔** 6月より大阪へ転勤となりました。福井先生によるしくお伝え下さい！
- **田中 信衣** 卒業後、2年間臨採をした後、埼玉県立高校の教員になりました。先日、説明会で久しぶりに埼大に行きましたが、随分変わったように思いました。
- **葛西 香太** 北大で博士課程に進学いたしました。今年の9月から、約半年間海外で研究活動する予定です。今のところ、元気にやっています。
- **兵頭 利明** 今回は、予定があり欠席します。三井生命を退職して6年数学とは全く関係ない毎日を忙しくすごしています。
- **三保谷 充** 東京しごとセンター(飯田橋)内のパソナキャリアでアドバイザー(就職支援)兼システムの仕事をしています。数学科同窓会はいつも所用と重なり欠席ばかりで申し訳ありません。みなさまによるしくお伝え下さい。盛会をお祈りしています。
- **岩崎 史郎** 昨年、一橋大学を定年退職致しました。今年はどういう訳か、特任教員と非常勤で3つの大学へ行くことになってかなり忙しく退職していないような気分で過ごしています。そのうちゆとりができたなら参加させて頂こうと思います。
- **向井 忠彦** NHK 全国放送に出演 2008.4.25 地球発！どうする日本「外国人力」で地域再生」仙台でソフトウェア開発会社を経営 最近是中国
- **岡部 章** 退職後はのんびりと数学の研究をして過ごしています。年に論文を1つぐらいの割合でやっています。
- **浅水屋 昇** 4年前に34年間勤めた会社を早期退職し、その後2ヶ所目の事業所にて元気に勤務しております。今回は残念ながら都合が付かず出席できませんが、次回は出席させていただき旧交をあたためたいと思っていますので、今後ともよろしく御願いたします。幹事の方々、ご苦労様です。
- **牟田 正憲** 大学で二次方程式の解の公式を教えるという情けないことになっています。自己評価だ、成果主義だと厳しいことですが、高校数学の復習をしていて成果があがるはずもなく、委員会とか雑用ばかり増えて忙しいだけの毎日です。
- **吉澤 英二** 幹事の皆様、同窓の皆様諸先生の皆様の御健康御活躍を祈念します。小生まもなく人生60年をむかえますが元気で百名山巡りなどに挑戦しています。今回は出席できず申し訳ありません。
- **林 実樹広** 残念ながら今回は欠席させていただきます。2007年3月埼玉大学において学会がありなつかしくキャンパスを散策しました。4年間世話になった蒼玄寮へも寄りました。その際閉寮を予定していると聞き時代の流れを感じました。また、新井先生が定年退官に当たり折りよくお話ができました。皆様の御健勝をお祈りしております。又お会いできる日を楽しみに。
- **吉原 久夫** 青春の一時期を過ごした、埼大での生活を懐しく思い出しています。同窓生の増々の活躍をお祈りいたします。
- **塚本 孝志** 10年程前に母親の病気を機にコンピューター関連業界から足を洗い、今は整体のつまみんという店をやっています。あいにく土日は繁忙で参加できませんが、もし可能なら数学科の同期にも宜しくお伝え下さい。
- **八十島 益良** 神奈川県立高校の教員としての最後の1年となりました。計算の得意でない子にも得意な子にも数学を伝え考えさせることの奥深さを感じています。当日は学期末で忙しくなりそうなので欠席といたします。

- **加藤 末広** 北里大学一般教育部(相模原市相模大野下車)で、22年程働いております。うちの大学も教員評価だの任期性だのせちがらい世の中に合わせ何でも大変ですが、まあぼちぼちやっております。皆様によろしくお伝え頂ければ有難く思います。
- **酒井 知幸** 春日部東高校数学科教諭 春日部東5年目 今年度は3年副担任 女子バレーボール部顧問 教務部 パツとしません
- **青木 陽子** 新潟県立精神医療センターに勤務しています
- **永野 將巳** 自給自足を目指し、米、小麦、大豆と旬の野菜を栽培しています。6月から7月にかけては、農作業の一番忙しい時期です。7月5日は、小麦の収穫の予定です。人を頼んでありますので、同窓会に出席できません。残念です。次回を楽しみにしております。
- **成田 希世子** 1600名も...!! 入学式、入学写真、卒業アルバム、名簿.....何もないので誰がどこで何をしているのかサッパリわかりません。同窓会名簿も卒業以来見たこともない それが埼玉大らしいかもしれないのですが 会長様は大変ですね 同窓会名簿入手出来ないのでしょうか
- **林 勇一郎** 神奈川で教員をやっています。今年で再任用3年目来年からは講師をやろうと思っています。皆様に宜しくお伝え下さい。
- **倉持 順二** 現在県立川越南高で3年生の担任をしています。登山部と陸上部の顧問で、今年はインターハイが地元(埼玉)であるので大変忙しい年になっています。数をやっているとなんが如何に大切なのかよくわかります。それにしても今の子の勉強しなさすぎは一体どうしたのでしょうか...
- **藤井 くに江** 6年前に埼玉県立高校教員38年間を定年退職し、今は油絵など描いて暮らしています。当日出席できませんが皆様によろしく。ご盛会をお祈りいたします。
- **寺本 七重** 数学とは縁のない生活をして40年余りとなりました。頭の体操にと囲碁を習い始めましたが、雲をつかむように難しいです。皆様お元気で。
- **長 兼史郎** この三月で定年退職しましたが、引きつづき、私立高校に継続勤務しています。担任を持っているので仕事量は変わりません。体力・気力ともに落ちてきましたが、健康管理に気をつけて、毎日、毎日生活をしています。
- **大沼 正彦** 同窓会会長をはじめ役員の皆様ご苦労さまです。当日所用があり、残念ながら欠席させていただきます。3年前に39年間の研究生生活に終止符を打ち、毎日が日曜日になりました。身辺整理をしたり、写真撮影、鉄道模型づくり等趣味の世界を楽しんでいます。
- **太田 重則** 福島県立相馬東高校に勤務しています。
- **浅井 邦彦** 2002年3月に脳腫瘍の手術をしてから6ヶ月が経ちました。右耳は全く聞えませんが、右顔面マヒも続いております。ただし、自立的な生活をしています。残念ながら今回の同窓会に欠席致します。
- **安保 広達** ご連絡を有難うございました。本人は現在アメリカ・アイダホ州に居住しており、時々一時帰国することもあります。今回は日時が合わない様です。アイダホ大学で数学を教えています。埼玉大学で学んだことが生かせる仕事だと感謝しております。 母
- **両角 秀人** 2002年に胃穿孔で危うく死にかけましたが、緊急手術が成功して生きのびられました。しかし31年以上睡眠薬を飲み続けているので体が弱りました。妻子がいなくて毎日やる事が無いので毎日数学の本を読んでいます。今は伊藤清三先生の「ルベーク積分入門」の87ページを読んでいます。1966年入学の同期の方々によろしくお伝え下さい。
- **川坂 明史** 司法修習生として、金沢裁判所で学んでいます。
- **松下 茂** ご案内をいただきお礼を申し上げます。当日都合がつかず失礼いたします。卒業以来37年になり、今年で職業を定年退職になります。皆様によろしくお願い致します。
- **大村 佐登** 後期高齢者ですので今回程度が出席できるのが最後かと思っておりますので、当日突発事項でもない限り出席させて頂こうかと思っております。友人という程、現在個人的に仲良くしている同窓生もいませんが、なにとぞよろしく。

- **太田 晶也** 現在人口透析を週3回(月・水・金)行っています。私が数学科を卒業したのは昭和27年3月です。当時数学科の同窓会は名前がありませんでしたので私が「矛盾の会」と名づけました。この名前は大変懐かしいです。
- **川野 克己** 同窓会の役員の方々に、ありがとうございます。久方ぶりに母校を訪れます。定年後3つの私立大学の附属高校に勤務しました。只今、都退職校長会、都退職公務員連盟などの役職をしております。知己と逢えるとうれいですが、盛会を祈り上げます。
- **今野 倅** 在職中病気の記憶ほとんどないのに定年退職前後より聴神経腫瘍、腎臓癌をはじめ、いろいろな病魔に襲われました。しかし、早期発見、早期治療の結果、それらの病気をほとんど跳返し、テニスを初めいろいろな趣味を楽しんでいます。これからもこのリズムを守り長生きしたいものです。そして、この同窓会といつまでもお付き合いできたらとおもっております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
- **三橋 文雪** 平成16年度に定年退職し現在都の嘱託員として不登校児童生徒の指導をしております。(板橋教育委員会板橋フレンドセンター勤務)
- **岡本 明** 70年卒業で今年還暦となりました。今年たまたま、1年上級の中村さんと同じ職場川口北高校で机を並べております。大学時代の先生や友人の話を懐しく思い出します。皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。お世話になります。
- **藤野 悦道** 小生その後出家し現在岩手県一関市大東町渋民の曹洞宗・東川院(とうせんいん)の住職をしています。ご盛会を御祈念申し上げます。
- **金子 昭彦** 昨年60歳になりました。現在第2の勤め先に通っています。しばらくはまだ勤めるつもりです。
- **田中 賢治** 現在の学校に勤務して30年が過ぎましたが、昨年隣接する中学校といっしょになり、6年一貫教育の中等教育学校が設立され、学校造りに頑張っています。完成は5年後ですが、現在の学校での教育とさらには閉校の準備とが重なり、忙しくも充実した日々をすごしています。

- **時任 拓磨** ブラジリアン柔術を学生の頃からずっと続けています。世界一になるために、練習の毎日です。仕事はネットショップのお手伝いでPHP や FLASH のプログラミング等を行っています。
- **石橋 和久** 現在航空自衛官です。勤務地は百里基地(茨城)というところで役職は補給隊の燃料小隊長です。仕事は毎日大変ですが、何とか頑張っています。

会計報告

1.収入の部

項目	摘要	金額	備考
繰越金	繰越金	331,720円	
合 計		331,720円	

2.支出の部

項目	摘要	金額	備考
理学部同窓会への会費	会費	40,000円	20,000円 ×2回
通信費	切手・葉書	181,995円	
会報作成費	コピー費	50,400円	
その他の事務費	その他の事務費	23,625円	理事連絡用メーリングリスト維持費等
合 計		296,020円	

3.収支決算

総収入	331,720円
総支出	296,020円
残金(次年度へ繰越)	35,700円

会計期間 2004年7月1日～2008年6月30日

理事会からのお願い

会計報告の支出の部から分かる通り、ほとんどを通信費が占めています。今回の会報の郵送費は7月に理学部の同窓会から補助を得ましたので可能になりました。次回の総会の案内の発送などが可能かどうか心配しています。

そこで会費の納入や寄付を願いたいと思います。

1口1,000円です。

<振込先> ゆうちょ銀行(金融機関コード9900)

店番019, 当座, 口座番号0315417

サイタマダイガクリガクブスウガクカドウソウカイ

ご協力をお願いします。